

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科	
科目名称	園芸学概論						授業形態	講義	
科目コード	710127	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員			Active・L
担当教員名	陳 蘭庄、姜 暲求、長江 嗣朗、廣瀬 大介、山口 健一、菅野 善明、前田 隆昭、杉田 亘							ICT活用	○
授業概要	キーワードを「環境」において、環境園芸学科の3分野（園芸学分野、造園学分野、自然環境分野）に関わる基礎的知識を学びます。								
関連する科目									
授業の方法と進め方	オムニバス授業です。各分野の教員が、異なるテーマで講義します。								
第1回	「環境園芸概論の意義と概要」 環境園芸学の各分野の概要を解説する。								
第2回	「樹木の病気と環境の関わり」 樹木の気象障害や土壌障害について解説する。								
第3回	「水田地帯の生物多様性」 水田と水路に生息する動物の多様さや生態などについて紹介する。								
第4回	「侵入害虫の脅威」 外来昆虫の問題を中心に、昆虫と環境や人との関係を概説する。								
第5回	「野菜生産のスマート化」 次世代型野菜生産技術におけるICT応用の最新情報と実装実験について解説する								
第6回	「農産物生産・流通・消費と環境」 農産物生産－流通－消費過程と環境への影響を、データに基づいて国際比較する。								
第7回	「造園学の新規軸と伝統性を考える」 Think Globally, Act Locallyの姿勢を考える。								
第8回	「造園学の新規軸と伝統性を考える」 Think Globally, Act Locallyの姿勢を考える。								
第9回	「遺伝と情報・植物のバイオテクノロジー」 園芸植物に利用されているバイオテクノロジー技術を解説する。								
第10回	「植物バイオテクノロジーと植物病理学」 植物バイオ技術発展への植物病理学の貢献について解説する。								
第11回	「Tradition and Innovation in Gardens」 日本庭園、西洋庭園の価値や社会性、役割について解説する。								
第12回	「ガーデニング活動による地域共生社会構築」 ガーデニング活動を通じた地域共生社会構築の最新事例などを解説する。								
第13回	「森林投資とCarbon Neutral」 2050年まで農林業の排出炭素ゼロの目標を実現するためには、林業の役割が重要である。近年の森林投資について考えてみる。								

第14回	「地域の環境理解」 都城市の自然と産業、環境について解説する。
第15回	環境園芸概論の総括
授業の達成目標	環境と園芸生産、環境と景観について基礎知識を学ぶ。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)
授業時間外学習【予習】	園芸生産、景観、生物多様性について調べる。
授業時間外学【復習】	園芸生産、景観、生物多様性について調べる。
課題に対するフィードバック	提出した課題は、次週に解説して返す。
評価方法・基準	課題提出（90％）、授業中質疑応答（10％）
テキスト	無い
参考書	無い
備考	毎回資料を配布する。